

アンコール小児科病院研修報告

一般社団法人 巨樹の会 小金井リハビリテーション病院 副院長 川内 基裕

アンコール小児病院は、カンボジア第2の都市シェムリアップにある小児医療専門の施療病院です。

16年前に蒲池会長をはじめとした多くの篤志家の寄付により設立されました。

その後はNPO法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPANの支援により運営されてきました。外来受診時に25セントを支払えば、その後は入院が必要となっても医療は原則無料です。

入院病床85床の小さな病院ですが、外来は受診者数1日平均500人にもなり、小児科医は毎日夜10時頃まで外来をしています。手術数は毎月200例、シンガポールなどの医療チームの支援も活用して開心手術も年間で100例以上施行しています。池友会で手術の手ほどきを受けたカンボジア人の外科部長の先生は一人で動脈管開存症の手術からヒルシュスプリング病の根治手術までこなすスーパー外科医です。

外来、外科・内科・新生児の病棟、ICU、リハビリ室等を見学しました。

外科病棟は16年前にできた建物の部屋ですが、ICUには最新の呼吸器も稼働しています。

リハビリ室の4人のスタッフは、入院患児のリハビリだけでなく在宅のリハビリ指導も行っています。

病院内には家族の使用できる炊事場も用意されていて、患児に付き添う親は自分と子供の分の食事を自炊します。

アンコール小児病院はカンボジアの子供たちに良い医療を届けてあげたいという蒲池会長の気持ちが始まりでした。

そして現在では20人の研修医をはじめ、多くの小児医師、看護師を教育してカンボジアの小児医療を支える拠点として活躍しています。



巨樹の会グループ病院からの参加者



外科病棟で、筆者、蒲池会長、藤田先生



小児用のリハビリ室



アンコールワットの日の入り

看護部便り

インフルエンザとは？



「インフルエンザ」は、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気です。

普通の風邪よりも急激に発症し、症状が重いのが特徴。気管支炎や肺炎を併発しやすく、脳炎や心不全になる場合もあります。

潜伏期間 … 1～3日

感染経路 … おもに飛沫感染(※)

発 症 … 急激に38℃以上の高熱が出る

症 状 … 悪寒、頭痛、関節痛、倦怠感などの全身症状、咳、痰(たん)、呼吸困難、腹痛、
下痢などの胃腸症状 など

療養期間 … 一週間程度

※飛沫とは、くしゃみや咳(せき)などで唾液や鼻水が小さな水滴となって飛び散ること。

ヒトに感染するインフルエンザウイルスには、A型・B型・C型の3つがあり、現在流行の中心となっているのはA型とB型です。

A型は症状が重篤になる傾向があり、死に至ることもあります。また感染力が強いため、大流行(パンデミック)を起こしやすく、過去には香港かぜやスペインかぜなどの世界的な流行で多くの死者を出しました。

2009年に世界中で流行したいわゆる「新型インフルエンザ」は、A型、H1N1亜型というものでした。

B型は、A型よりも症状が比較的軽く、限られた地域で流行するケースが見られます。

C型は鼻かぜ程度の軽い症状ですむことが多いウイルスです。

【一般療法】

できるだけ安静にし、栄養と十分な睡眠を取ります。

インフルエンザウイルスの空気中での活動や感染を抑えるために、加湿器などで室内の湿度を50～60%に保ちます。水分を十分に補います。お茶、スープ、ジュースなど何でもいいので飲みたいものを飲みます。

【対症療法】

発熱や関節痛などに対しては解熱鎮痛薬、鼻水やくしゃみに抗ヒスタミン薬などが用いられます。一方、インフルエンザの症状はインフルエンザウイルスに対して免疫が正常に働いている結果であり、薬で無理に抑えないほうがよいという考え方もあります。市販の薬を自己判断で使用することは、かえって逆効果になる場合があるので、医師の指示にしたがってください。

※解熱剤については、使用しない方がよいものもあります。アスピリンなどのサリチル酸解熱鎮痛薬、ジクロフェナクナトリウム、メフェナム酸がその代表的なものですが、自己判断はせず、必ず医師に相談してください。

歩行補助具の種類と特徴

今回は当院で使用している主な歩行補助具の種類と特徴についてご紹介します。

① 歩行補助杖【片手で支えれば歩ける】

T字杖



持ち手がT字になっていて、掴みやすく、体重がかけやすくなっています。比較的バランス機能の高い方に適しています。

ロフトランド杖



握力が弱く、手首に力が入りにくい場合、杖をしっかり握りづらい方に適しています。

多脚杖



上部から体重をかけるように使用。片麻痺の方や関節疾患によりバランスの取りにくい方に適しています。

サイドケイン



多脚杖より安定しており、立ち上がり補助としても利用可能です。足が振り出しづらい方に適しています。

② 歩行器【両手で支えれば歩ける】

四輪型歩行器



左右のハンドルを握り、押しながら歩行します。座面付の歩行器の場合、座って休憩も可能です。軽度の障害や足の力が弱い場合長い距離を歩行しづらい方に適しています。

肘支持型歩行車



前腕部をフレームに乗せて身体を支持。立位のバランスの取りにくい方に適しています。

固定型歩行器



歩行器を持ち上げて前に置いてから足を出して進むタイプです。上肢がしっかりした方に適しています。前脚に車輪を付けたタイプの前輪付歩行器もあります。

交互式歩行器



歩行器の片側を前に動かして逆側の足を出す動作を交互に繰り返すタイプとなっています。固定型と比べて動作が難しくなります。

* 歩行補助具の適用には対象者によって個人差があります。より詳しい種類等の説明、適合判定、使用方法などご不明な点がございましたら、理学療法士等の専門スタッフにご相談下さい。

栄養科のひとことメモ

温まる食事で冷え性改善！

冷え性の主な原因は血行不良で、血管の少ない手足への血液量が減少する事で発症します。そこで冷え性の辛いこの時期、血行が改善される食生活を紹介します。

まず血行を促進する為には5大栄養素(炭水化物・蛋白質・脂質・ビタミン・ミネラル)をバランス良く摂取する事が基本です。中でも血管を広げるビタミンE、全身に酸素を運ぶ鉄、鉄の吸収を促進するビタミンCは特に重要となります。

これらの栄養素を多く含む大根の葉や法蓮草を使用した鍋などは胃腸を温める作用もありおすすめです。



こもれびトピックス



小金井リハビリテーション病院のアレコレ。

院内旅行

2014.10.28/サッポロビール キックマン工場



ビール好きには
とても楽しい
1日でした!

ハリーポッターの
世界に惹き
こまれました!



2014.12.10/大阪・USJツアー2泊3日

2014.12.10/石垣島2泊3日



スキューバ
最高!

海の幸を
たくさん
頂きました!



2014.11.12/函館2泊3日

第1回地域評議員会

平成26年11月20日

平成26年11月20日に地域評議員会を当院会議室で開催しました。

今回は第一回という事もあり、当院がどのような機能を持つ病院なのかご理解頂く為、院内ラウ



ンドや昼食会等で懇親を深めました。地域に根付いた病院を目指し努力して参りますので、よろしくお願いいたします。



山田関東統括特別顧問講演会

平成26年12月10日

当グループの関東統括特別顧問である山田達夫先生にお越し頂き、「認知症と意欲障害への対応」というテーマでご講演頂きました。

先生は認知症に関してとても高名な方で、多数



のTV出演などもされています。実例を交えながら非常に分かり易い内容で、早速明日からのリハ・ケアに活かしていきたいと思えます!



節分

平成27年2月3日

例年ですと鬼のお面をかぶったスタッフへの的当て(得点籠を持った鬼役スタッフが逃げ回りながら)を行い、チームや個人で得点を競う「豆まきレク」を行っていましたが、今年は少し趣向を変え「患方巻き収集ゲーム」を実施しました。出来栄の良いスタッフ手作りの道具に患者様からは感嘆の声が上がり、季節感を味わいながらのレク活動を楽しみました。



医療連携室から

医療連携室には、看護師1名、社会福祉士の資格を持った医療ソーシャルワーカー7名が在籍しております。

患者様やご家族様より入退院に関わるご相談をお伺いし、解決に向けてお手伝いいたします。

必要に応じて介護保険などの社会保障制度や、施設・福祉サービスなどの社会資源の情報提供を行い、入院中の生活や退院後の生活について一緒に考えます。

ご不明な点がございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。

※ご利用、ご相談は無料です。また、ご相談内容についての秘密は厳守します。

相談窓口：1階受付

受付時間：9:00～16:30（月曜日～金曜日） 9:00～12:00（土曜日）



小金井リハビリテーション病院 医療連携室 TEL 042-316-3100 / FAX 042-316-3222

小金井リハビリテーション病院 周辺のご紹介

オープン・ミトン カフェ はけの森

今回ご紹介するのは、オープンミトンというカフェです。

病院の北側近くにははけの道という自然豊かな散歩道があります。その中間あたりに位置する市立はけの森美術館。

その奥に隠れ家のようにあるのがオープンミトンです。

オーナーパティシエの小嶋ルミさんは本も出版されてる方です。軽食とおいしいお菓子が緑豊かな空間で楽しめます。

皆様も是非行って見て下さい！



東京都小金井市中町1-11-3
営業時間：3月～10月10:00～16:30
11月～2月10:00～15:50
定休日：月曜・火曜・水曜・第3日曜
☎042-385-7410

小金井リハビリテーション病院 Access map



巨樹の会グループ(14病院)最大の許可病床数303床!!

原宿リハビリテーション病院

平成27年4月1日開院予定

お問い合わせ先

原宿リハビリテーション病院開設準備室
東京都渋谷区神宮前6-26-1 電話 03-3486-8333(直通)
http://www.harajuku-reha.com E-mail info@harajuku-reha.com

内覧会

平成27年3月16日(月)～19日(木)
平成27年3月23日(月)～27日(金)
時間 11:00～17:00
担当者 高石・宇田

開院式典

平成27年3月21日(土)内覧会/10:00～12:00
式典/13:00 開式
※軽食も用意しております。お気軽にお越しください。
担当者 末永・宇田



東京都心部に回復期リハビリテーション病院を開設予定!

五反田リハビリテーション病院

平成27年秋開院予定

お問い合わせ先

五反田リハビリテーション病院開設準備室
東京都品川区西五反田8丁目8-20 電話 03-3779-8820(直通)
http://www.gotanda-reha.com/ E-mail mail@gotanda-reha.com

五反田リハビリテーション病院

検索

オープニングスタッフ募集中!

